

かけはしコラム

家庭と地域との心の架け橋を目指し、

2月号

子どもとの関わり方の一助となる言葉を発信していきます

～逆境を乗り越える～

寒さの厳しい雪の季節。ふゆは、春の成長前の大切な時期ですね。

竹に雪が積もると道路にまでしなることも…。しかし、折れることなく耐えているように映ります。そして、気温も上がり雪が解け、元のしなやかでたくましい姿に戻ります。いつも私は、人の心のあり方の様に眺めています。

逆境体験を上手に乗り越える人はレジリエンスの力が高いと言われます。簡単に言うと、心の回復力です。困らないのではなく、困りごとを長引かせないしなやかな強さでしょうか。

春夏秋冬…いろいろな季節がある様に、子どもの心の成長発達も日々変化します。私たちは、子どもに対してどうしても右肩上がりになるような期待をかけたくなくなります。「まだまだ」「もっと上を」と。しかし、努力してもなかなか報われない時、大人でもいかがでしょうか。元気が出なくて、困り果てる時、子どもとお話しながら「今は、ココかな?」「きっと、こうなるよ」と、困りごとトンネルを抜け出すきっかけに、このような未来を信じるような「レジリエンスカーブ」をご活用ください。

必ず、未来は拓けるものです。子どもの前にいる大人は鏡です。

是非、肯定的な未来志向を大人自身も獲得したいですね。

